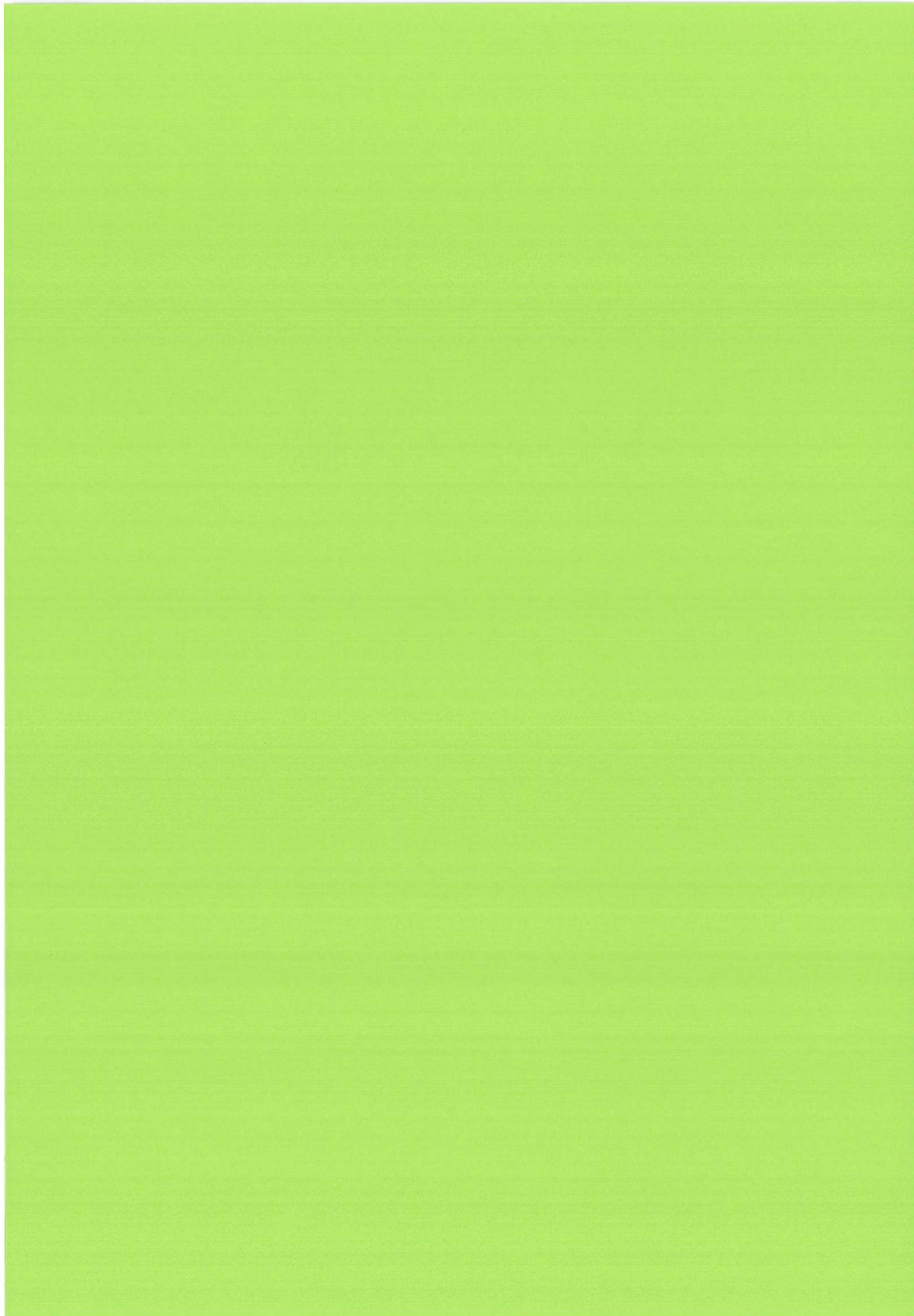


トピックス編



1 表彰

知事表彰（平成31年2月6日）

【永年勤続表彰】

- ・30年表彰 ①浜野 晋一郎 ②辻 真也 ③芝崎 匡樹 ④鈴木 泰子
⑤三森 信一 ⑥熊倉 佐千子
- ・20年表彰 ①若林 康治 ②大塚 利枝 ③大塩 智子 ④福地 麻貴子
⑤家泉 葉子 ⑥富田 宣子 ⑦川島 貴子

2 ボランティア活動

(1) 病院ボランティア

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
病院ボランティア	2017年	患者、家族の案内等	月～金曜日：外来等

(2) 外部団体による定期的な病棟内ボランティア活動

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
カリヨン文庫	1986年	本の読み聞かせ・貸し出し	毎週木曜日、第2・4火曜日： 病棟
ホスピタル・クラウン	2012年	クラウンの病棟訪問	月2回：病棟
セラピードッグ	2013年	セラピー犬による病棟訪問	月1回：病棟

(3) 外部団体によるイベント

ボランティア名	活動日	活動内容
ハッピードールプロジェクト 2018	平成30年6月8日（金）	さまざまな布や飾りなどを使って、オリジナルの人形を作成。
しまじろう 病院訪問プロジェクト	平成30年7月6日（水）	しまじろうとおねえさんが病棟を訪問。お子さんとの触れ合い、写真撮影などを行う。
弦楽三重奏コンサート	平成30年9月25日（火）	バイオリン、ビオラ、チェコによるクラシックコンサート。
ストリングラフィ・アンサンブル・コンサート	平成30年11月27日（火）	オリジナル楽器ストリングラフィによるコンサート。
青い目のサンタさん訪問	平成30年12月11日（火）	NPO法人難病のこども支援全国ネットワークによるサンタ訪問
ロビーコンサート	平成30年12月13日（木）	外来患者向けに、キーボード、ギター、歌のコンサート。
大道芸フェスティバル サテライト公演	平成31年1月11日（金）	大道芸公演。
なにぬの屋公演	平成31年2月21日（木）	布で作った紙芝居。

3 「養護の会」各種イベント

6月下旬～7月7日

「七夕飾り」

7月下旬～8月中

「夏祭り」

12月中

「クリスマスツリーの飾り作り、飾り付け」

患児、看護師、保育士でクリスマスツリーの飾り作り、飾り付けを行う。

「病棟クリスマス会」

これらの事業は、長期入院などで外に出ることのできない子ども達の生活に潤いを与えたいと、医療スタッフや職員からなる「養護の会」が企画、協力したものである。

4 院内保育

(1) こども広場

院内保育室は、平成30年度で18年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院又は通院している患児者の兄弟姉妹であり、2歳6ヶ月から6歳までの未就学児である。

対象外保育として、1歳から2歳5ヶ月以下のお子さんや小学生は病棟から対象外依頼書を発行し、保育可能の了承があった場合のみ保育を行っている。

平成30年10月より、外来患者の兄弟姉妹を対象とした保育も行っている。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕など季節の行事には、飾りつけの製作を行っている。

特にクリスマス会は、年に一度の行事として位置づけ、歌を歌ったり、毎年保育士による出し物やゲームを楽しみ、手作りおもちゃをプレゼントし、好評を得ている。

利用者の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人数	776人	848人	703人	915人	713人

平成30年度利用者の月齢構成

年齢	人数	構成率
2歳6ヶ月未満	141人	20%
2歳6ヶ月～2歳11ヶ月	168	24
3歳	195	28
4歳	68	10
5歳	102	14
6歳	18	2
就学児	13	1
外来	8	1
計	713	100

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員 の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日に開設した。また、移転に伴い、平成29年1月には、新病院内に隣接するさいたま赤十字病院と共用する保育施設をオープンした。保育対象の子供は産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時（前後に各1時間の延長あり）まで、定員は50名（各病院25名）、保育園の運営は民間業者に委託で行った。

平成29年度は、1年間で医師12名、看護師6名、コメディカル3名の計21名が、平成30年度は、1年間で医師10名、看護師10名、コメディカル4名の計26名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回（月、水、金）行っている。

埼玉県立小児医療センター 歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The image shows a musical score for a song. It consists of seven systems of music, each with a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are written below the vocal line. The score includes various musical notations such as treble and bass clefs, time signatures, and dynamic markings like 'mf' and 'V'.

わかし
 ま
 くろのふえをむさおのめるおきのなちをこどもらへあ
 のいさりよをささげんとあつまたのいりよをひをともす
 ら一しようにセンターここにありしょう
 に一しようにセンターここにありましり

埼玉県立小児医療センター 歌

さんぼくたけし

若草萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともし
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詞、作曲された)

